

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 1 月 27 日

公表:令和 5年 月 日

事業所名 チャイルドデイケアほわわ名古屋星ヶ丘

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・利用者が多い日は動線に注意している ・感染症対策に配慮した距離感にも注意している	
	2	職員の配置数は適切である	5		利用者に応じて必要な人数の支援者が配置されている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・エレベーターやスロープ、子ども用トイレ、手洗いの設置を行っている ・歩きやすさや滑りにくさに配慮したマットを選んで使用している ・写真やイラストを用いて一日の予定や当番などを伝えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		活動後毎日丁寧に掃除、消毒を行い常に清潔を保っている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	支援の振り返りと目標設定を毎日行い、非常勤も含めた支援者への共有を日々行っている	業務改善を図るためのPDCAは定期的な仕組みにしていきたい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページで公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		外部評価を行えていないため、今後検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		法人から都度研修案内がされており、社内・社外の研修に積極的に参加している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・年に2回面談を行い、計画作成している ・アセスメントツールを用いて子どもの状態やご家族の意向を確認している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・項目を立てて支援内容を計画している ・計画した目標に沿って日々の活動を組み立てている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		保育士をメインに看護師、指導員と相談しながら立案している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・固定化しないよう努力している ・大きな公園や動物園へのお出かけ、季節のイベント等を行っている	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		前日に翌日支援について打ち合わせたうえで、毎朝打ち合わせを行い、スケジュールや役割分担を確認している	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		・支援後毎日振り返りを行った上で職員間で情報を共有し、翌日の支援に反映している ・日々の支援で気になることがあれば職員間でその都度相談して支援を考えている		

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		利用記録に記録を残すようにしている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的にモニタリングをして個別支援計画の作成を行っている	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	担当者会議は開かれていないが、関係者に個別で連携を図っている	担当者会議が開かれておらず該当案件なし
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		保健所の職員から、該当児が当施設でどのように過ごしているかヒアリングを受けて情報共有する機会があった	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		地域の相談支援員、担当医、訪問看護、保育所等、必要に応じて関係機関と連絡をとり合い、連携して支援を行っている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		・主治医や訪問医との連絡体制がある ・月に一度嘱託医と会議を行っている ・地域の保育園、保健所、病院、クリニック等と必要に応じて情報を共有している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	今年度は該当児がいないが、移行時には発達状況のわかる引継ぎ資料を作成し、情報共有を図っている	今年度は該当児なし
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		連携を図っていきたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	・地域の公園に遊びに行っている ・職員のこどもたちと交流機会がある	近隣の保育園と連携する関係性はあるが、感染症等の状況から今年度は交流を行えていない。機会を作っていきたい
	保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援後の引継ぎや、電話等で状況の共有を行っている	
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1		日々のコミュニケーションの中で相談・助言の機会はあるがプログラムとしては確立していない。今後検討する。
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		ご相談があれば都度聞き取りを行い、内容について検討し必要な支援や情報収集などが出来るように努力している	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		就学に向けた座談会や勉強会を開催した。音楽会やお楽しみ会等で保護者同士が顔を合わせる機会を作っている	
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		月に一度発行している	
38		個人情報の取扱いに十分注意している	5		個人情報の取り扱いについて毎年度同意書を取っている	
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		ハロウィンイベントで地域の方の訪問を行った	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・緊急対応は契約時に作成し、保護者と半年に一度内容の確認を行っている。 ・感染症マニュアルを策定している。	・防犯マニュアルも策定していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		火災や地震に備えた避難訓練を月に一度実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		食器やスポンジなどの共有を避け、物品の保管等にも気を付けている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書に記載し支援者間での共有を行っている ・過去の事故報告書やヒヤリハット集をいつでも閲覧できるようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		管理者レベルでの研修の実施スケジュールについて議論はされているが、まだ研修は実施されていない。今後検討する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		個別支援計画に記載し、保護者に説明をしている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。